

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員:3名回答、回答率 100%

保護者様:37名回答、回答率 92.5%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・法令上必要な基準となる人員配置をしている。近隣教室との送迎調整により、送迎時間帯にも手薄にならないよう工夫を行い、安全管理に努めている。
- ・スペースを区切り、子どもたちが過ごしやすい環境をつくれるように工夫している。
- ・感染症対策として、定期的に換気扇をおこなっている。
- ・排泄時の同性介助が徹底できている。

### ○業務改善

- ・業務前MTGが取れない場合は、業務後にMTGで支援の振り返りを行い、職員間での意見交換や支援の方向性を決める場を設けている。
- ・職員間での重要な共有事項については記録にも残るようチャットを活用して確認しあっている。共通の認識で業務にあたるように努めている。

### ○適切な支援の提供

- ・個別支援計画をもとにした支援を行っている。
- ・面談時や、送迎時に保護者のニーズを把握し、利用者のレベルに合わせた支援を行っている。
- ・ニュースレターに利用者の「やってみたい」を反映させた集団療育を取り入れ、療育内容が固定化されないよう工夫している。
- ・祝日や長期休みに課外活動や調理活動を取り入れ、利用者に様々な経験をしてもらえる工夫している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時や、面談時に利用者の様子をすぐに共有するようにしている。
- ・法人内他事業所と連携を取り、お子様の学齢や特性、ニーズを踏まえた支援の提案を行い、必要に応じて移行調整も行っている。移行の際には、移行先の事業所との情報共有を密に行ったり、日頃から交流の機会をもつことで、スムーズに移行できるように配慮している。

### ○保護者への説明責任等

- ・怪我や事故時にはすぐに電話で共有をしている。また、普段から送迎時に利用者の様子を共有している。
- ・毎月ニュースレターを通して、次月の集団療育内容をお知らせしている。
- ・契約時には、丁寧に重要事項を説明し、同意を得て利用していただいている。

### ○非常時等の対応

- ・毎月地震や火災といった避難訓練を行っている。毎回同じような訓練にならないように、想定を変えて訓練を実施している。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

- ・多くのご家庭から、安心の声をいただいた。今後も、安心していただけるよう環境を整えていく。
- ・中には「たまには外出する機会を設けてほしい」といった声もあった。学校休業日を利用して、多くの課外活動を取り入れていきたい。
- ・支援において、手が行き届いていない場面があったことについてもご指摘をいただいたため、職員間での声掛けの強化や対応すべきことをチェックリスト化するなどの工夫を行い、これまで以上に細やかな支援が提供できるように努めていく。

## ○適切な支援の提供

- ・「集団だけでなく、個別の支援をしてもらっている」、「子供達の意見を聞きながら決めようとしてくれる」、「毎週異なる活動で、子どもが楽しく通えています」等の意見をいただいた。今後も、利用者が楽しく通いつつ自立できるような、利用者にあった支援をしていく。
- ・「支援の詳細が分からない」という意見もいただいた。ニュースレターだけでなく、写真や療育参観を通して、支援内容を実際に見てもらおう機会を作っていきたい。

## ○保護者への説明等

- ・「職員さんが面白楽しく関わってくれているので安心してあずけられる」という意見をいただいた。今後も安心して利用してもらえるよう利用者様や保護者様と関わっていく。
- ・「発達状況や課題を踏まえた上で、家庭で活かせることのアドバイスなどがほしい」という意見もいただいた。相談を受けた際は、教室で取り組んでいることの中からご家庭でもできる助言をしていく。また、教室内でも共有し、様々な視点から意見を取り入れていく。

## ○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアルや避難訓練について「よくわからない」という意見が数件あった。写真や療育参観を通して、見ってもらう機会を作る。
- ・「避難訓練を苦手としているので増やしてほしい」という意見をいただいた。自然災害だけでなく、車内置き去りといった、イレギュラー対応もより実践的に取り組んでいく。

## ○満足度

- ・多くのご家庭から満足してご利用いただけていると評価があった。まだ、通所が少ない利用者様に関しては「まだ慣れるために頑張っている様子」と意見もいただいた。通所回数を増やして慣れていってもらよう、楽しいと思える環境にしていく。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・会社の理念や教室の目標に常に立ち返り、よりよい支援とは何か、子どもたちの為にできることはなにかを考えて行動する。
- ・職員体制を充実させ、個人のスキルアップもはかることで、より適切な支援につなげる。
- ・外部機関との連携をはかり、保護者、子どものニーズにあった支援を行う。
- ・非常時のマニュアルや活動概要について周知できる仕組みを検討し、改善を行う。
- ・保護者会や地域交流の場を設ける。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・業務前後のミーティング時間に振り返る時間を設けることで、職員全体で子どもたちにできることが何か考えて行動することができた。
- ・法令上必要な職員体制で、教室運営をすることができた。
- ・外部機関や保護者会等で連携や交流を図る機会をつくるのが難しかったため、ニーズを把握し機会を設けていきたい。

# アンケート結果からみる教室の強み・改善点

## ○教室の強み

- ・ 集団だけでなく個別の活動を組み込むなど、毎週異なる活動を組み込むことができている。
- ・ 利用者様の「やりたい」を反映した支援を提供することができている。
- ・ 面白楽しく利用者様と関わることで、保護者様から安心して利用してもらえる環境づくりができている。

## ○改善点

- ・ 職員間で共通認識をもてていなかったり、統一できていなかったことがあり、支援の手が行き届いていない部分もあった。ミーティングで子どもの個別対応についての実施時間や方法を確認し、実施したことを職員間でも相互確認することで、これまで以上に細かやかな支援が実現できるように努めていく。
- ・ 課外活動の機会が少なく、「外に出たい」という声があるため長期休みや祝日開室時に積極的に課外活動を取り入れていく。
- ・ 療育参観など保護者様参加の機会がなかったことで、支援内容について保護者様が分からない状況ができていたため、利用者様の様子が分かるような療育参観を開催していく。

# 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

## ○中長期的な改善計画

- ・ ミーティングを活用して支援の方向性を統一していく。
- ・ 面談や保護者対応時を通して、避難訓練等の緊急時対応について周知していく。
- ・ 長期休みや祝日に課外活動や調理活動を積極的に取り入れていく。
- ・ 保護者会や療育参観を開催し、普段の利用者様の様子が分かるようにする。

## ○1年間で取り組む具体策

- ・ 業務前だけでなく業務後にもミーティングを行い、いつでも見返せるよう記録を作成し支援の方向性を統一していく。
- ・ 利用者様の希望を取り入れながら、長期休みや祝日に行ける課外活動や調理活動を検討し、企画していく。
- ・ 利用者様の普段の様子が分かるよう、夏休みや春休み等長期休みを利用して定期的に保護者会や療育参観を開催する。